

# さとうゆみ

## きらめく未来づくり通信

2016年4月 NO. 25 ～3月議会報告～

〒480-1157長久手市桜作708

TEL & FAX / 0561-76-7811

携帯 / 090-5863-9971

E-mail / info@satoyumi.net

☆さとうゆみ議会報告会☆

6月18日(土) 14時～16時

長久手交流プラザ



### 新年度予算で私たちの暮らしはさらに充実するか？

3月議会で、長久手市の平成28年度予算を審議しました。人口増による納税者の増加、新築家屋の増加により市税収入は順調に伸びていますが、支出も増加しています。基金(貯金)が減り、市債(借金)が増える傾向が強くなっており、限りある財源を市民の暮らしの充実に活用することが求められます。

### 放課後児童クラブに入れない悲鳴！

平成28年4月時点で放課後児童クラブに入れない待機児童が90人もいます。この数年間で市は保育園の受け入れを大幅に増やしたため、小学生になったときの放課後の居場所確保は優先課題です。早急に定員の拡大をすべきです。

### 市役所庁舎はプレハブで対応するが市が洞小 小学校区共生ステーションに1億2000万円！

昭和42年に建てられた市庁舎は狭く、平成28年度から5年間プレハブをリースして対応します。

一方、市が洞小学校区共生ステーションの整備費は1億2000万円と高額

です。内訳は建物改修3000万円弱、増築約3000万円、調整池周辺整備約1500万円、用地購入3660万円です。増築部分は、丁子田、市ヶ洞で出土した須恵器(市指定文化財)の展示施設ということですが、古戦場公園の資料館も建て替えるため、ここに展示施設が必要でしょうか？

※市が洞小学校区共生ステーション整備は長湫南部土地区画整理組合(平成27年に解散)からの寄付金で対応するとのこと



旧長湫南部土地区画整理組合事務所を改修

### 税金のバラマキとまらないように！

自治会連合会と区会に合計1034万円のコミュニティ活動事業費補助金が、また小学校区単位のまちづくり協議会準備会に合計801万円の交付金が出されます。一例として、市が洞地区自治会連合会に230万円、岩作区会に140万円、市が洞および西小学校区まちづくり協議会準備会にそれぞれ375万円の予算がついています。

何に使うかは各地域に任せているので、地域住民の意向が反映された使い方になっているか確認をします。

### 図書館の新刊本の購入が1000冊分も減る！

中央図書館の図書購入の予算は毎年2000万円でしたが、今回200万円減額されました。防犯カメラなどの改修のために減額したということですが、図書購入費と設備改修とは切り離して考えるべきです。



### ～その他に平成28年度予算で進むこと～

- ◆文化の家大規模改修…平成28年2月～平成29年度に実施  
合計9億9541万円かかる
- ◆長湫北保育園建設…5億5240万円で鴨田公園横に移設  
定員を136人から266人へ拡大し平成29年度開園
- ◆産後健診助成…産後の母親の1カ月健診費も新たに助成
- ◆地域スマイルポイント…奉仕活動などに参加するとポイントがつき図書カード、クオカードと交換
- ◆軽度、中等度難聴児補聴器購入助成…身体障害者手帳を持たない軽度・中等度の難聴児にも助成
- ◆学校プール開放…長久手小学校のみで実施していた夏場の学校プール開放を南小学校でも実施

### 議員のボーナス引き上げへ

3月議会で議員提案で、議員のボーナスを引き上げる条例改正案が出されました。人事院勧告に基づき大臣、副大臣等のボーナスも引き上げられたことが根拠です。私さとうゆみは、以下の3点の理由で引き上げに反対しました。

- ①議員のボーナスが上がるほど市民の暮らし向きが良くなったと感ぜられないこと
- ②市長が市長と副市長のボーナスは上げない判断をしていること
- ③議員のボーナスを上げる議案を議員が出していること  
引き上げに反対の議員は私さとうゆみの他、じんの和子議員、林みすず議員、田崎あきひさ議員、吉田ひでき議員の5人と少数で、賛成多数にて可決されました。これにより平成28年度の議員のボーナスは、前年度より議長が3万5380円、副議長が3万666円、議員が2万6244円上がります。

## 《さとうゆみ3月議会一般質問から》

### 各小学校区に1カ所防災公園の設置を

**Qさとう** 市が洞小校区の南部公園は防災機能を持っており、北小校区の鴨田公園横の緑地にも整備予定である。他の小学校区にも必要と考えるが、どうか。

**A くらし文化部長** 今後「地域防災計画」と連携する形で検討を進める。

**Qさとう** 地域で議論がまとまれば、公園にかまどベンチ等の設置ができるか。

**A くらし文化部長** 防災には自助、共助が一番大事なので、地域の提案や意見を聞き、公園の防災機能の充実を図っていきたい。

### 認知症の人とその家族を支える体制の強化を

**Qさとう** 認知症と思われる人は市内に何人ぐらいいるか。

**A 福祉部長** 平成28年2月1日現在、介護認定を受けている人で、認知症高齢者の日常生活自立度2以上の人は711人。厚生労働省の調査では、65歳以上の約15%に認知症の症状があると言われており、市の人口から推測すると約1300人いる。

**Qさとう** 早期に認知症地域支援推進員を配置し、認知症初期集中支援チームの設置をすべきではないか。

**A 福祉部長** 平成30年4月までに設置できるよう検討する。

### 幸せのモノサシづくりの目的は何か

**Qさとう** 幸せのモノサシとは、数値なのかどのようなものか。

**A 行政経営部長** 数値的なものであるのかも含めて分かりやすい指標を市民とともに見つけていきたい。

**Qさとう** 1000万円以上もの公費を使って市が幸せのモノサシをつくる目的は何か。

**A 行政経営部長** 生活の物質だけの満足度を重視した価値観は限界を迎えており、本当に質の高い生活や地域の豊かさをみんなで確認するシステムに転換していく必要があるため。

#### さとうゆみプロフィール

1978年名古屋市名東区生まれ 2000年南山大学文学部卒業

2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選

2015年2期目当選

家族…夫、息子(中学2年生)、娘(小学2年生)

趣味…カメラ、フラワーアレンジメント、水泳、雑貨屋めぐり

この通信の発行には一部政務活動費を使用しています(政務活動費は月1万円)

#### ～さとうゆみの考え～

市が洞小学校区にある長湫南部公園(旧1号公園)には、かまどベンチが14基、マンホール直結型トイレが6基、ソーラーライトが2基設置されています。大災害時には、公助(市、消防救急、警察など)の手が回りきらず、地域住民による取り組みが力を発揮します。市内には48の自主防災会があり、日頃から各地域で災害に対する備えをしています。他の小学校区にも、防災機能を持った公園を積極的に設置すべきだ考えます。



↑南部公園に設置されたかまどベンチとソーラーライト

#### ～さとうゆみの考え～

認知症は、いつ自分が、家族になるか分からない身近な問題です。市内に2カ所ある「地域包括支援センター」が認知症の対応窓口ですが、よく知られていないため、どこへ相談すればよいのか分からなかったという市民の声がありました。

昨年11月に行われた徘徊高齢者捜索模擬訓練では、認知症役の人とすれ違った人171人のうち声をかけたのは28人で、大半の人が無関心で通りすぎました。

市は、認知症の人を地域全体で見守る仕組みをつくるとともに、早期に必要な行政サービスへつないでいけるよう、支援体制を強化することが必要だと考えます。

#### ～さとうゆみの考え～

市は、平成24年度から幸せのモノサシづくり事業を開始しました。しかし、4年目に入る現在も「分かりやすい指標を市民とともに見つけていきたい」という状況です。

平成28年度までに総額1000万円以上の税金を投入しています。このうち「ながくて幸せ実感アンケート」の委託に350万円を、アドバイザーである大学教授に200万円を支出していますが、市民の暮らしにどのように生かされるか市は説明をする必要があると考えます。市の目的は、「質の高い新しい価値観に立つ」ということですが、長久手市民の幸せを同一のモノサシで測ることはできるのでしょうか。

ブログ「きらめく未来づくり日記」毎日更新中！私の活動や長久手市の最新情報を書いています。さとうゆみは、どの政党にも属さず、長久手に暮らす人の立場で発言します！

